

食品新聞

発行所 **食品新聞社**
<http://www.shokuhin.net>
 大阪市北区南森町2-3-30
 郵便番号 530-0054
 電話 06 (6361) 4972(代)
 東京都中央区入船1-9-8
 郵便番号 104-0042
 電話 03 (3552) 3756・4031
 名古屋市中区丸の内2-10-11
 リブタの内 66 305号
 郵便番号 460-0002
 電話 052 (221) 5391(代)
 (支局) 広島・福岡

© 食品新聞社 2018
 THE JAPAN FOOD NEWS
 購読料 半年33,346円

永谷園の
お茶づけ海苔

きょうの業界天気図
家庭用食用油



はれとくもり
プレミアムオイルを中心
に市場は安定。オリ
ブオイルも再拡大へ。

きょうの主な内容

4～**5** 家庭食用油特集
6～**7** 中国地区部特集

下期に向けて、大手製油各社はオリブオイル、ごま油、アマニ油、こめ油など成長が続くプレミアムオイルの提案を強める方針。注目の「か

に抑えているものにつては、事実上即して「適切に分別生産流通管理している」旨を表示する。油やしゅうゆなど、最終製品で組換えられたD

上期 プラスで 折り返し

プレミアムオイル好調

上期の家庭用食用油市況は金銀、物量ともに前年を上回るペースで折り返しに近接した。5月後半のデリスに番組で、アマニ油やオリブ油の健康効果が紹介され、数々を伸ばしたのに加え、米油やごま油などのプレミアムオイルが全体を牽引した。前期、やや停滯したオリブ油も今期は復調気配で、年間4000億の大台突破が期待されている。そのほかのさまざまな油も、今期は「一かけるオイル」の需要も拡大にむけ、下期に向けて主力各社の提案活動が活発化している。

再び成長軌道に

家庭用油市場は17年度で約380億円。調理で、プレミアムオイルの需要が年々上昇傾向にある。一方で、34年前後のプラティックを維持する。主力となった。主夫のワークス、バジンの使用機会が広がって、市場は前期過去最の280億円を突破。オイルに加え、オ

年間で400億円超のマー
グを、今上期は益益、
物量とも前年を回り復
調気配にある。5月後半
のテレビ番組で「マヨ
ネーズのマイスター」に
なり、久々のマイスター
として、幅広い料理に使
い続けられており、調味
料としての地位を固めて
いる。その専攻分野は、
リゾットやごま油、
アマニ油、米油などの
プレミアムオイル。最大
のキーマン・最有力の
調味料である。5月後半
のテレビ番組で「マヨ
ネーズのマイスター」に
なり、久々のマイスター
として、幅広い料理に使
い続けられており、調味
料としての地位を固めて
いる。

家庭用食用油

り、上期トータ

分
グループ
青果流通機能を強化
東京大田市場に仲卸新会社

[illegible]

扱 い 魚 種 の 資 源 状 態 調 査

大手水産企業で公表は初

日本水産

日本水産（日本）の目
内外グループが16年に取
り扱った水産物資源のうち「資源確保と心配のないもの」は88%だった。
9月28日の会員の賛同で、
世社社長がらうに
これらはグループが掲げ
るCSR主要課題「豊かな
な海を守り、持続可能な
水産資源の利用と調達を
推進する」に基づき、グ
ループ事業計画（2019年
及びグループ国内28

社、海外16社）を対象に
調査を行った結果、大手
産会社や商社の手続き
で公表するのは「恐ろく
初め」（的社社長）だ
が「透明性確保のため
として発表した」（同
と話す。資源状態につ
いて

学者間でも意見が割
れ、また独自に評価す
ことは「企業では難し
い」（同）ことから評価
は多岐にわたった。

世界的に魚の需要が高
まる中、天然魚の漁獲量
は毎年8千万トン前後で推
移しており、需要増は養
殖でカバーし、需要状況
だが必要となる需要の高
まりが想定されており、
資源状態が悪化している

日本の16年調達数量は
約160万トン（原価換算
重量で世界漁獲量の1
・6%相当）。取扱魚種は
約45種類、うち天然
魚は93%、養殖魚は7%

今回調査した天然魚
（51万4千665
トン）の中で「資源状態
と心配はない」とされた88
%（133万3千301
トン）、海のエイワ
ベルと言われるMSCな
どの認証品は37%。「心
配あり」とされた3%（5万
1千81トン）、不明は9%
（13万3千451トン）。調査
役員は「今回調査で取り
扱いをやめたのは少ない
といえども、資源確保の
ない」として、資源確保
の悪い業者との取引を減
らすことを求めた。

今回の調査で、天然魚
を用いた、不明なものに
ついては、調査の企業
が個別に確認した。主力
日本は養殖事業にも注力
しているが、白身魚や高
級魚が多いこともあり全
体の7%にとどまる。

課題となるのは「心配
・不明」とされた12%へ
の対応だ。前相知ズ執行
役員は「今回調査で取り
扱いはなかったものの、
復讐計画、漁業管理のな
い」として、資源確保の
悪い業者との取引を減
らすことを求めた。

カゴメ
創業120周年記念

全社員でダンスムービー制作

カゴメは、来春創業120周年を迎えるため、それを記念してカゴメグループの役員や従業員（海外含む）約2千000人総出でオリジナルダンスムービーを制作して3日から公開した。未来へ向かって成長するカゴメを表現した記念ソング「進めカゴメ」に合わせ、各事業所がそれぞれのオリジナルダンスを踊りながら約4分のダンスムービーに仕上げる。既にYouTubeで公開しているほか、来春にかけて株主や流通、取引先も含めたステークホルダーにも案内する。

寺田直行社長が発案で実現したこの企画。働きと働ける風土づくりと

のため難しい。「だが働
き甲斐のある職場づくり
で最も大事なのはコミ
ニケーションや生き生き
と働ける風土づくり」と

錦田部長



トマト栽培に挑戦した経
 緯が歌詞に盛り込まれて
 おり、歌詞は社内ウケ
 だと剪ったキマワレ
 をもとに小薬元が作詞
 した（作曲は兼松衆
 氏）
 構想から約一年かかっ
 た
 グループ主任）

餅は年末
 あるので使い勝手が良
 い
 年始に最需
 い▼一方、こうしたメ

逆光線

逆光
の餅を誰も
映されてい
ない。餅製
品の機能ア
ップがあっ
ても値段が
上がること
は業界では
よく知られ
ていて、

「メ」は、「夏」の日も、冬の日も、煙は生きている。命は生まれていくから始まり、「なにもないところから」ぼくらが広めた、はじめのことはいつだってむずかし

江一太郎氏の

遺伝子組換え表示改正案 パブリックコメント開始

の健康成分やおいしさが注目され、揚げ物、炒め物、生食にも使える「オイル」して支持されている。今期もメタケ長を続けており、プレミアムな市場活性化を狙う（４～５月）「家庭用油」特集。

クコメントを開始した。
意見募集は11月8日まで
を実施し、遺伝子組換え
農産物の混入を5%以下
とする案を示した。

消費庁は新たな遺伝子組換え表示制度に係る食品表示基準の一部改正案（内閣府）を公表し、10日からパブリック

用途、使えるごま油、和食や炒め物など幅広く用途、使えるオリブオイルなど、食用油の使用量を広げることで、さながら生物性油脂を狙う（４～５面に「家庭食用油」特集）。

消費者庁は３日付で消費

を実施し、遺伝子組換え
農産物の混入を5%以下
とする案を示した。

K&K
缶つま

さかな
肴で、
酒はうまくなる。

缶つまは、
お酒に合う厳選された素材や、
素材を活かした製法、
メニューづくりにこだわり続けます。

 **国分グループ本社株式会社**
KOKUBU
東京都中央区日本橋 1-1-1 www.kokubu.co.jp